

本市では、市内の公立小中学校において小中一貫教育を推進しています。毎月15日号で7つの中学校ブロックでの取り組みを紹介します。

問 学校教育課 ☎88・2760



幡山中学校ブロックでは、「たくましく生きる子」「思いやりのある子」「地域に貢献できる子」を共通のめざす子ども像として掲げ、9年間を見通した教育を進めています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、計画どおりにはいきませんが、小さなことでも今できることを連携しながら行っています。

「学習活動」～専門性を生かした学習効果を高める取り組み～

小中学校の学習内容、指導方法や児童生徒への相互理解を深めるため、小中の教職員の相互交流による授業に取り組んでいます。今年度は中学校の体育の教員が小学校を訪れ器械体操の指導をしました。児童は技術的なポイントを的確に指導してもらいながら、楽しく取り組んでいました。



小学校の教員は、中学校の教員の授業を参観したり、支援したりすることを通して、小学校6年間で必要なことや大切なことを感じ取り、日頃の指導に役立てています。児童との交流の機会を通して、中学校の教員は、子どもたちの様子を把握できます。また、子どもたちは、中学校に対する不安の解消に繋がっています。

「よりよく交流する幡タイム活動」

ブロックで共通した活動として、よりよい人間関係のコツや技術習得のための、ソーシャル・スキルトレーニングやグループ活動を統合した取り組みを児童生徒の実態に合わせて行っています。

毎年、講師として名城大学の曾山和彦先生をお招きし、小中学校教職員がともに学ぶことで、一貫した指導に繋がっています。そして児童生徒に意図的、計画的に実践することで、児童生徒のより良い人間関係の構築を図っています。



幡山中学校でのハットーク(幡タイム活動)



小中の教員がともに学ぶ研修

「地域との連携・協働」

小中学生が地域と連携し、地域清掃活動を実施しています(令和2年度は中止)。

「部活動などを通しての連携」

部活動の交流では、小学生が中学校で実技体験するだけでなく、中学生が夏休みの宿題の学習支援や、理科の実験を行っています(令和2年度は中止)。